



吉凶を表す言葉①六曜

六曜（ろくよう）

六曜（ろくよう）は14世紀ごろに中国から日本に伝えられましたが、広く行われるようになったのは幕末以降のことです。時代とともにその名称や順序も変遷していて、現在は、先勝（せんしょう、せんかち、さきかち）、友引（ともびき、ゆういん）、先負（せんぷ、せんぶ、せんまけ、さきまけ）、仏滅（ぶつめつ）、大安（たいあん、だいいん）、赤口（しゃくく、じゃくく、しゃっこう、じゃっこう、せきぐち）となっています。例えば、1月、7月（旧暦）の1日（朔日）に先勝を当て、以後順に担当していきます。意味の解釈は様々で、どれが正しいという基準はありません。以下では一般的な解釈を示しました。

六曜

六曜	基準日	意味
先勝	1月、7月の1日	急ぐことは吉。午前は吉、午後は凶。
友引	2月、8月の1日	友を引く。祝い事は良いが葬式などの凶事を忌む。朝夕は吉、正午は凶など。
先負	3月、9月の1日	何事も控えめに平静を保つ日。午前は凶、午後は吉。
仏滅	4月、10月の1日	万事凶。葬式や法事は構わない。
大安	5月、11月の1日	万事大吉。特に婚礼に良い。
赤口	6月、12月の1日	凶日。特に祝事は大凶。火の元、刃物に要注意。正午は吉、朝夕は凶。